

平成25年度 木犀会・教育文化学部連絡協議会

平成24年10月7日（月） 18：30～21：00

場所 ホテルメリージュ

新地辰朗 教育学研究科長、添田佳伸 教育文化学部長をはじめ10名の大学関係者の出席のもと、緒方木犀会会長の司会のもと以下の内容が協議された。

◎ 木犀会の活動と学部との連携

○大学側からの現状説明

昨今の教員採用試験の厳しい状況の中で、小学校教員採用数に占める宮崎大学の学生の占有率を何とか50%代に上げるよう努力中である。今後大学としてはどのようなミッションを求めていくのか、文科省の指導を受けながら改めてその再議を進めている。その一方でこれまでの教員養成に加えて学校現場との交流を深め、現職教員の研修の場を提供するべく「教育実践総合センター」の充実を図っているところである。

○木犀会からの提案(木犀会の組織拡充)

- ・ 学生の木犀会への加入促進と組織拡充のために
学生の位置づけを「準会員」とし、入学時に入会させ、入会金を徴収いきたい。
- ・ 役員体制の改編として、卒業年次代表者を「代議員」とし、総会に参加するようにした。
- ・ 木犀会員による学生のキャリア形成支援は継続する。
- ・ 創立記念日等への学部教官・学生の参加協力を求める。

<広報活動の充実のために>

- ・ 広報委員会から、会報の原稿依頼を総務係りにお願いすることで了解していただく。
- ・ 新設されたHP委員会から「ホームページのリニューアルオープン」についての説明を行った。

木犀会が新たにレンタルサーバーを設け、大学のホームページとリンクさせることにより、大学との連携を図っていく。10月1日付けオープンしたばかりであるが、大学、本部、支部、学校（現役の教員）、学生を取り込んだ広範かつタイムリーな情報の共有化を目指し、人的ネットワークの拡充・緊密化を図る。

以上が協議され、概ね了解された。

ただ、入学時の学生同窓会入会と同時に入会費を徴収することについては、保護者で組織されている「後援会」との関連もあり、慎重に扱う必要があるという大学からの意見もあった。

